

第 82 回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 23 年 6 月 26 日（日） 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内
3. 委員出席 委員総数 7 名
出席委員の氏名 児玉 昭義 中島 和晃 小島 隆雄
木村 敏彦 堂園 孝美
欠席委員の氏名 大橋 民男 島田 貴司
放送事業者側出席 須藤 一郎
4. 議題
 1. 番組編成に関して
 2. その他
5. 議事の概要 議題に対する答申
6. 審議の内容
議 長：須藤 一郎
出欠席者の確認をして会議に入った。
次に本日の審議事項の発議を提案。
会社側委員：「歌え蓄音機」はスポンサーの都合により暫く休止になります。
委 員：懐メロ系番組としてはユニークな構成であり鎌倉の雰囲気にも違和感のない内容ですから早期の再開を期待します。
会社側委員：東日本大震災により計画が宙に浮いていました「街の駅」サテライトスタジオは期間限定ですが近々にオープンできる予定です。
委 員：鎌倉エフエム放送を軸にして街の活性化にも寄与する「街の駅」企画だと思えます。大幅に活用できるような番組編成を考慮して下さい。
会社側委員：関係諸団体のご協力を得て有効な情報交流と情報発信に留意したい。
委 員：大震災の影響であるとは思いますが早期に実現されるよう尽力ください。
会社側委員：放送機材老朽化対策として自動番組送出装置と音声調整卓及び周辺機器の改修を行います。部品調達の進行具合にもよりますが 8 月上旬完了を目処に工事を開始します。
委 員：懸念される夏期の計画停電への対応は含まれていますか。
会社側委員：放送機材老朽化対策は難聴対策の一環として鎌倉市の補助を得て行う事業ですが計画停電などに対応する電源の確保に関しては別途計画実行の予定。尚非常時への対応に関して、関係諸機関との調整を計りたいと考えてます。
委 員：平常時番組内容の向上はもとより非常時への対応を再確認すべきだと思います。
会社側委員：鋭意努力したい。本日は有り難うございました。
7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し
8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日 ホームページにて公開
9. その他の参考事項 な し
以 上